

Start!

「本宮駅東西自由通路」と 「本宮駅西口広場」整備

「本宮駅東西自由通路等整備計画書（平成28年1月策定）」に基づき、「本宮駅東西自由通路」や「本宮駅西口広場」などの整備を今年度より本格的に事業に着手します。「子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、東西に活力あるまちへ！！」を基本方針として、東西交流の活性化、安全・安心・快適性の向上を目指します。



本宮駅の東西の
交流から
活気あるまちへ

Point1

「本宮駅東西自由通路」や「本宮駅西口広場」、「地域交流センター（仮称）」などについて、国の交付金を活用するために、平成28年度から32年度までに整備する「本宮市街地地区（第2期）都市再生整備計画」を策定しました。

今回の都市再生整備計画では、駅周辺整備のほか、国で実施している阿武隈川左岸築堤整備事業に併せた環境整備も行います。

Point2

平成28年度からの5年間の都市再生整備計画の総事業費は、約28億7千万円です。

事業名	事業費
本宮駅東西自由通路	約19億5千万円
本宮駅西口広場	約4億3千万円
地域交流センター（仮称）	約4億5千万円
その他事業	約4千万円
合計	約28億7千万円

Point3

市のお金だけで整備するのは大変です。国からの交付金以外にも、基金（積立金）や起債（借入金）を活用して整備します。

財源	金額
一般財源	約6千万円
基金（積立金）	約3億円
交付金（国の補助金）	約11億円
JRの負担金	約1億円
起債（借入金）	約13億1千万円
合計	約28億7千万円

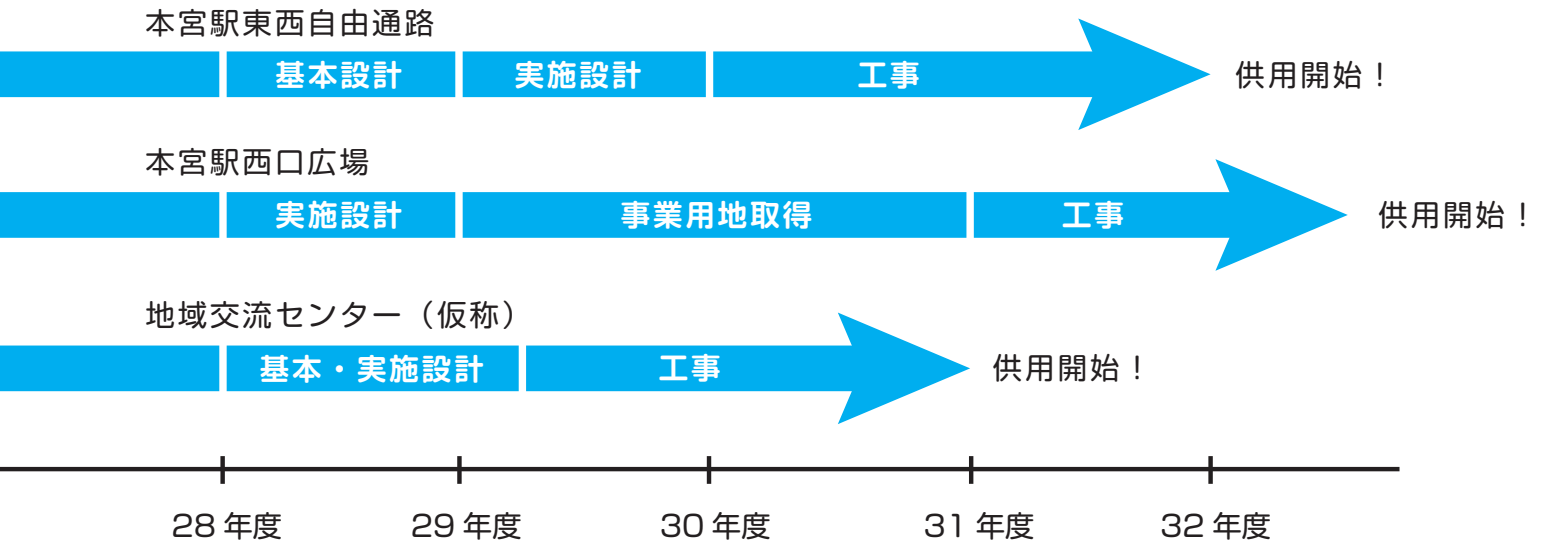
これらの課題の解決を目指すことにより、東西交流の活

ます。これら3つの課題に取り組みます。『市の顔』となるような、魅力ある交通施設や拠点施設の整備②鉄道によって分断された本宮駅の利便性の向上③国が実施している阿武隈川本堤改修事に併せ、水に親しめるような場所の確保、といった3つの課題に取り組んでいきます。

平成28年からの5年間は、第2期都市再生整備計画にあたり、主に本宮駅周辺と築堤事業が進む阿武隈川の左岸地区において、①駅周辺の東西交流の人口増加を図るため、『市の顔』となるような、魅力ある交通施設や拠点施設の整備②鉄道によって分断された本宮駅の利便性の向上③国が実施している阿武隈川本堤改修事に併せ、水に親しめるような場所の確保、といった3つの課題に取り組みます。

市では、平成19年度から24年度にかけて、第1期都市再生整備計画に基づいて、本宮駅東口の利便性の向上のため、「東口広場」の整備や「大縄堀踏切」の拡張を行ったり、健康福祉のまちづくりの創出のため「えぼか」を建設しました。

第2期都市再生整備計画が始まります



都市再生整備計画で実施する事業位置図



- ★ 本宮駅東西自由通路：東西自由通路の整備と駅舎の改築を行います。駅舎を自由通路とつながる2階に改築し、東西双方の利用者が自由通路から直接改札口へ向かえるようにします。
- ★ 本宮駅西口広場：東西自由通路の整備に合わせて、西口広場を整備します。大型バスの利用も可能な広場として整備します。
- ★ (仮称) 地域交流センター：市民が、気軽に利用し、交流できる施設を整備します。
- ★ 本宮駅周辺駐車場：西口広場整備に合わせて、隣接する市営万世駐車場の舗装整備を行います。
- ★ 東町地内ポケットパーク：国で実施している阿武隈川左岸築堤整備事業に合わせて、堤防と一体となった小規模公園を整備します。
- ★ 旧奥州街道（市道太郎丸4号線）：太郎丸地内に残っている旧奥州街道跡を舗装道路に整備します。
- ★ 防犯灯（太郎丸地内～鳴瀬地内）：国が実施している阿武隈川左岸築堤整備事業に合わせて、堤防上の防犯灯未設置区間に防犯灯を整備します。

性化と安全・安心・快適性の向上へとつなげていきます。

『本宮市街地地区（第2期）都市再生整備計画』は、市のホームページでご覧になるか、市役所まちづくり推進課での配布も行っています。

問 まちづくり推進課 まちづくり係 ☎ 24・5405